

リンパ浮腫を適切に治療するためには、リンパ浮腫の病因・病態を理解して量的・質的に正確な診断をするとともに、他疾患との鑑別診断や合併症について確認することが必要です。上記は本来医師が行う内容ですが、残念ながら現時点では、リンパ浮腫の適切な診断や症状に応じた治療方法を選択できる医師は少ないと言わざるを得ません。

私は、今後リンパ浮腫患者のケアを担当する皆様に、リンパ浮腫について臨床現場で役立つ知識を持っていただきたいと考えて講義を行っています。

「浮腫の病因・病態・鑑別」では、リンパ浮腫を含めた「浮腫」の要因となる疾患をまとめ、それぞれの発症機序や鑑別点について理解していただきます。

「リンパ浮腫の診断と評価」では、リンパ浮腫を診断する手順や、治療方針を決定するために欠かせない量的・質的な評価の方法をお話します。

「リンパ浮腫の治療方針と日常生活指導」では、量的・質的診断に基づいた治療方針の決定方法について解説します。リンパ浮腫と診断がついてもそれぞれの患者様で全く同じ治療を行うことはないということを理解していただきます。また浮腫を悪化させにくい日常生活についても指導のコツがありますので再確認していただきます。

「泌尿器下部消化管、その他の悪性腫瘍、皮膚科形成外科治療後の浮腫」では、各疾患でリンパ浮腫が発症する機序や症状の特徴を解説します。

「終末期に於ける浮腫のケア」では、ケアすることが難しい終末期の浮腫に対して、当院で行っている私なりの対処方法などを解説します。

以上のような講義内容ですが、講義を聞いていただいた翌日から実践できるように、可能な限りわかりやすく解説いたします。

リムズ徳島クリニック
院長 小川佳宏

